

賛否など態度決定に至った理由・討論

| | |
|-------------------|--|
| 令和4年3月定例会 | |
| 議案番号 議案名 | 議案第58号 令和3年度病院事業会計補正予算(第1回) |
| 議員名・会派名等 | 公明党 |
| 賛否態度 | 賛成 |
| 賛否など態度決定に至った理由や討論 | <p>以下の賛成討論をもって、態度決定に至った理由と致します。</p> <p>賛成の立場から討論を行います。</p> <p>特に医療センターについて申し上げますが、まず、先ほどの質疑でもご説明頂いた通り、令和3年度の数字については、患者数が減少したために減収となっておりますが、しかし、これは県の計画に基づき、新型コロナウイルス感染症患者用の病床を確保していることによって、通常医療の病床が縮小していることが要因であり、やむを得ないと考えます。</p> <p>また、外来収益は増収となりました。コロナ禍で、診療控えが発生する中でも、一定の数字を確保できたことは、市民の信頼を得ている証だと評価したいと思います。</p> <p>そして、全体を見れば、病床稼働率も上昇して、コロナ影響前の令和元年度の水準を超えてきているとのことで、昨今の厳しい経営環境の中にあっても、病院事業関係者のご尽力により、一定の数字を確保して頂いていることを大いに評価したいと思います。</p> <p>また、今回の補正では、国庫補助金や県補助金など、約32億9800万円が増額補正となっております。</p> <p>これは、本医療センターが、新型コロナウイルス感染症に対し、積極的に対応していることが反映されたものであり、まさしく、市民の命を守る取り組みの結果であると、併せて評価させていただきます。</p> <p>何れにしても、今年度の最終損益見込みでは、損失が発生する状況ではありますが、減価償却費を勘案すれば、黒字になってきておりますので、引き続きのご尽力を頂ければと思います。どうかよろしくお願いいたします。</p> <p>そして、改めて、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中で、最前線の現場では、関係者の皆さまが大変な思いで、従事していらっしゃると思われ、心から感謝申し上げますとともに、引き続き、市民の命を守る取り組みを心からお願いして、賛成討論とします。</p> |